

平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイナボホールディングス
 コード番号 7539 URL <http://www.ainavo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部一成
 問合せ先責任者 (役職名) 管理統括部部长代理兼管理統括部
 経理グループ長 (氏名) 奥山学志
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-4570-1316

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	44,047	22.9	1,559	80.3	1,676	73.9	1,006	104.4
25年9月期第3四半期	35,831	6.3	864	107.8	964	94.5	492	141.0

(注)包括利益 26年9月期第3四半期 1,036百万円 (90.3%) 25年9月期第3四半期 544百万円 (171.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	86.98	—
25年9月期第3四半期	45.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	28,432	15,132	53.2
25年9月期	28,040	14,374	51.3

(参考)自己資本 26年9月期第3四半期 15,132百万円 25年9月期 14,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	8.00	—	12.00	20.00
26年9月期	—	12.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	14.8	1,690	53.4	1,860	46.4	1,030	50.8	89.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	11,647,820 株	25年9月期	11,647,820 株
26年9月期3Q	81,383 株	25年9月期	81,223 株
26年9月期3Q	11,566,508 株	25年9月期3Q	10,834,405 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、440億47百万円と前年同四半期に比べ82億15百万円(22.9%)の増収となりました。増収の主な要因としましては、上半期において増税前の駆け込み等による需要の増加があったことや、その増加したユニットバス工事や外壁タイル工事に対して、技能工を効率的に運用し予定工期に則した施工ができたこと、さらに昨年5月に完全子会社化したインテルグローグループの上半期6カ月分の業績を取り込んだことによるものです。

また、利益面につきましては、営業利益は15億59百万円と前年同四半期に比べ6億94百万円(80.3%)の増益、経常利益は16億76百万円と前年同四半期に比べ7億12百万円(73.9%)の増益、四半期純利益は10億6百万円と前年同四半期に比べ5億13百万円(104.4%)の増益となりました。増益の主な要因としましては、増収効果による粗利益の拡大、受注環境の改善による大型工事の採算性向上、業務の効率化による人件費等の抑制によるものです。

当期より持株会社を設立し、事業会社として株式会社アベルコ、株式会社インテルグロー、温調技研株式会社、AVELCO VIETNAM Co.,Ltd.を傘下に置く体制に移行するとともに、当期を開始年度とする中期3カ年計画を新たに策定いたしました。今後、営業戦略として「商材の拡充」「施工力の向上」「業務効率のアップ」「新規開拓の促進」の4項目を強化し、M&A等による営業エリアの拡大を図りつつ、3年後には売上高700億円と営業利益率2.5%の達成を目指してまいります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(戸建住宅事業)

戸建住宅事業の売上高は、388億77百万円と前年同四半期に比べ、78億55百万円(25.3%)の増収、セグメント利益は17億92百万円と前年同四半期に比べ4億50百万円(33.5%)の増益となりました。

戸建住宅向けタイル建材及び住宅設備の受注環境は、長期金利の先高観や景気の回復期待による新設住宅着工戸数の増加、さらに増税前の駆け込み需要が重なり、上半期までは新築およびリフォーム物件ともに順調に推移しました。しかし、4月以降は技能工不足や住設商材の納期遅延の影響により想定以上に3月からの期ずれ工事があったものの、新規受注は減少しました。

このような状況の下、住宅設備販売及び工事の売上高は、225億35百万円(31.7%増)となりました。主な増収要因としましては、継続的な新規工務店開拓で増加した顧客に対して、施工力を武器に上半期の需要増を的確に捉えたことによるものです。注力商品である太陽光発電システム工事は今期目標受注高13億円の達成が見込め、また上半期停滞した新規工務店開拓も4月以降急速に増加するなど今後600件程度の顧客からの売上が見込める状況で推移しました。

外壁工事及び建材販売の売上高は、163億41百万円(17.5%増)となりました。主な増収要因としましては、株高による資産効果や長期優良住宅への関心度の高まりを背景として、ハウスメーカーを主体に住宅外壁向けタイルの採用率が増加したことによるタイル完工高の増加や、タイル需要の増加とともに、関東地区を中心にシェアの高いタイル工事店向け販売高が増加したことによるものです。オリジナルタイル「マリスタ」は、商業施設向け受注は苦戦しているものの、住宅向けには増加しており、今期の目標売上高16億円は達成可能な状況となりました。また、外壁サイディング工事についても29億円の完工高の達成に向けて、技能工の育成やプレカットサイディングの事業化に取り組みました。

(大型物件事業)

大型物件事業の売上高は、51億70百万円と前年同四半期に比べ3億60百万円(7.5%)の増収、セグメント利益は3億15百万円と前年同四半期に比べ1億44百万円(84.0%)の増益となりました。

分譲マンションの足元の建設投資は、増税前の駆け込み需要の反動や、建設費の高騰の影響により新設住宅着工戸数が2月から前年対比で5カ月連続の減少となるなど、不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、タイル工事の売上高は26億93百万円(30.1%増)となりました。主な増収要因としましては、昨年からの市況好転を受けて増加していた受注残物件において、上半期は増税前の駆け込みによる完成が増加したことや、第3四半期は経過措置物件の大型完成があったことなどによるものです。また、受注状況の好転により、売上総利益は大幅に改善しました。

住宅設備工事の売上高は24億77百万円(9.6%減)となりました。主な減収要因としましては、主力の集合住宅向けユニットバス工事の売上高が採算重視の受注に移行したことにより、前年対比で65%程度となったことや、空調設備工事の売上高につきましても、公共工事の増加により官公庁向け空調工事は順調に推移しましたが、民間リニューアル向け設備工事は営業体制の未整備が原因で計画値に届かなかったことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億92百万円増加し、284億32百万円となりました。これは主として、未成工事支出金が4億28百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が2億67百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億65百万円減少し、132億99百万円となりました。これは主として、短期借入金が3億1百万円増加し、支払手形・工事未払金等が8億90百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億58百万円増加し、151億32百万円となりました。これは主として、利益剰余金が7億28百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月22日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,691,576	6,797,705
受取手形・完成工事未収入金等	11,554,287	11,286,781
商品	508,283	596,108
未成工事支出金	1,322,827	1,751,548
材料貯蔵品	18,777	22,051
繰延税金資産	325,519	240,851
その他	367,724	599,568
貸倒引当金	△83,447	△101,466
流動資産合計	20,705,548	21,193,149
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,565,932	1,539,725
機械装置及び運搬具(純額)	10,025	6,086
工具、器具及び備品(純額)	72,769	97,402
土地	4,170,156	4,170,156
リース資産(純額)	60,758	42,996
建設仮勘定	18,196	—
有形固定資産合計	5,897,838	5,856,367
無形固定資産		
のれん	5,712	4,284
その他	120,031	85,332
無形固定資産合計	125,744	89,616
投資その他の資産		
投資有価証券	315,906	364,293
長期貸付金	6,279	5,140
繰延税金資産	39,086	80,960
その他	1,140,056	1,062,182
貸倒引当金	△190,438	△219,033
投資その他の資産合計	1,310,891	1,293,543
固定資産合計	7,334,474	7,239,528
資産合計	28,040,023	28,432,678

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,522,359	5,632,099
ファクタリング未払金	2,885,314	3,128,890
短期借入金	698,756	1,000,112
リース債務	27,513	22,246
未払法人税等	493,458	551,868
未成工事受入金	511,680	532,375
完成工事補償引当金	19,447	23,080
工事損失引当金	14,449	5,386
その他	1,110,063	1,031,940
流動負債合計	12,283,042	11,927,999
固定負債		
長期借入金	337,923	272,500
リース債務	36,921	25,129
退職給付引当金	150,667	142,278
役員退職慰労引当金	100,175	77,520
役員退職慰労未払金	45,830	45,830
繰延税金負債	32,238	89,236
その他	678,602	719,188
固定負債合計	1,382,358	1,371,683
負債合計	13,665,401	13,299,683
純資産の部		
株主資本		
資本金	896,350	896,350
資本剰余金	1,360,896	1,360,896
利益剰余金	12,088,424	12,816,790
自己株式	△32,914	△33,013
株主資本合計	14,312,756	15,041,023
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	61,865	91,970
その他の包括利益累計額合計	61,865	91,970
純資産合計	14,374,621	15,132,994
負債純資産合計	28,040,023	28,432,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	35,831,982	44,047,904
売上原価	30,917,531	37,677,750
売上総利益	4,914,451	6,370,154
販売費及び一般管理費	4,049,455	4,810,456
営業利益	864,995	1,559,697
営業外収益		
受取利息	58,700	74,454
受取配当金	7,965	10,004
不動産賃貸料	38,594	98,986
その他	30,250	15,511
営業外収益合計	135,511	198,957
営業外費用		
支払利息	7,441	9,338
支払手数料	8,325	7,828
不動産賃貸原価	20,035	57,934
その他	624	6,951
営業外費用合計	36,427	82,053
経常利益	964,079	1,676,601
特別利益		
国庫補助金	—	32,399
固定資産売却益	—	190
投資有価証券売却益	910	600
特別利益合計	910	33,189
特別損失		
減損損失	—	22,259
固定資産除却損	1,956	211
固定資産売却損	30	17
会員権評価損	300	570
特別損失合計	2,286	23,059
税金等調整前四半期純利益	962,703	1,686,731
法人税、住民税及び事業税	384,547	594,958
法人税等調整額	73,449	85,736
法人税等合計	457,996	680,694
少数株主損益調整前四半期純利益	504,706	1,006,037
少数株主利益	12,629	—
四半期純利益	492,077	1,006,037

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	504,706	1,006,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,839	30,105
その他の包括利益合計	39,839	30,105
四半期包括利益	544,546	1,036,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	530,470	1,036,142
少数株主に係る四半期包括利益	14,075	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,810,416	31,021,566	35,831,982	—	35,831,982
セグメント間の 内部売上高又は振替高	167,135	119,143	286,278	△286,278	—
計	4,977,551	31,140,709	36,118,261	△286,278	35,831,982
セグメント利益	171,706	1,342,461	1,514,167	△649,172	864,995

(注) 1 セグメント利益の調整額△649,172千円はセグメント間取引消去1,223千円と各報告セグメントに配分していない全社費用△650,396千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間より、株式会社インテルグローの株式を取得し、同社及び同社の子会社2社を連結の範囲に含めております。これに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの金額は、「大型物件事業」において1,108,211千円、「戸建住宅事業」において4,579,006千円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、当社を株式交換完全親会社、株式会社インテルグローを株式交換完全子会社とする株式交換を行っております。

当該事象によるのれんの増加額は、46,868千円ありますが、報告セグメントには帰属させておりません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,170,470	38,877,433	44,047,904	—	44,047,904
セグメント間の 内部売上高又は振替高	338,578	203,608	542,187	△542,187	—
計	5,509,049	39,081,042	44,590,092	△542,187	44,047,904
セグメント利益	315,934	1,792,653	2,108,588	△548,890	1,559,697

(注) 1 セグメント利益の調整額△548,890千円はセグメント間取引消去120,937千円と各報告セグメントに配分していない全社費用△669,828千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「大型物件事業」、「戸建住宅事業」において電話加入権のうち使用見込みのないものについては、回収可能価額がないものとして減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
減損損失	1,712	17,053	18,766	3,493	22,259

(注) 調整額の金額は、報告セグメントに配分していない全社部門の電話加入権の減損損失であります。